

# 自然由来の重金属等（フッ素・ヒ素）の検出について ～ 分析結果の更新（8月18日時点） ～

## <土壌分析結果>

➤ トンネル掘削土砂を搬出した箇所での土壌分析結果：

（7月6日調査開始、7月9日以降順次結果確認）

フッ素：最大 1.5 mg/ℓ（基準値 0.8 mg/ℓ以下）（※1）

ヒ素：最大 0.011mg/ℓ（基準値 0.01mg/ℓ以下）（※1）

※その他の物質は、基準値以下

（※1）トンネル掘削土砂を搬出した箇所において「土壌汚染対策法のガイドライン」に基づく方法で採取し、「土壌汚染対策法」に基づく方法で分析した結果

## <水質分析結果>

➤ 搬出箇所周辺における水質分析結果：8月11日以降順次結果確認

箇所	運搬箇所	搬出量 (m3)	盛土の目的	土壌分析結果	水質分析結果 ※2	対策状況
①	大和地区	189	直轄河川護岸工事 河川護岸の捨石	基準値以下	－	・基準値以下のため対策不要
②	下鹿野川地区	288	県道工事 橋梁下部工事作業ヤード	基準値以下	－	・基準値以下のため対策不要
③	大駄場地区残土処理場①	518	山鳥坂ダム 残土処理場	フッ素：0.95mg/l ヒ素：0.011mg/l	基準値以下	・ブルーシート被覆による応急対策済
④	大駄場地区残土処理場②	675	山鳥坂ダム 残土処理場	フッ素：1.3mg/l	基準値以下	・ブルーシート被覆による応急対策済
⑤	見の越トンネル	160	山鳥坂ダム付替県道工事 掘削ズリ仮置場	フッ素：1.4mg/l	基準値以下	・ブルーシート被覆による応急対策済
⑥	月野尾地区	56	市道工事 道路改良路床盛土	フッ素：0.9mg/l	－ ⑤に移動済	・飛散防止対策として⑤に移動済
⑦	下敷水地区②	270	山鳥坂ダム工事用道路工事 仮設進入路盛土	フッ素：1.0mg/l	水質調査中	・ブルーシート等被覆による応急対策済
⑧	下敷水地区①	153	山鳥坂ダム一次切替道路工事 路床盛土	フッ素：1.0mg/l	水質調査中	・ブルーシート被覆による応急対策済
⑨	敷水地区	414	山鳥坂ダム付替県道工事 補強土壁盛土	フッ素：1.5mg/l	基準値以下	・ブルーシート被覆による応急対策済
⑩	椽の木瀬地区	5,063	山鳥坂ダム付替県道工事 路体盛土	土壌調査中	水質調査中	・土壌調査中 ・ブルーシート被覆による応急対策済
⑪	植松地区	999	市道路災害復旧工事 法面復旧盛土	フッ素：1.0mg/l	基準値以下	・土壌調査中
⑫	見の越地区	12	林道補修 砂利道補足材	基準値以下	－ ⑤に移動済	・飛散防止対策として⑤に移動済
合計		8,797		※基準値 ・フッ素：0.8mg/l ・ヒ素：0.01mg/l		

※1

※1：8月18日更新

※2：搬出箇所近傍の沢水、河川より採取し分析

### 土壌調査状況の凡例

調査中	
基準値超過	
基準値以下	



【土壌調査結果】

【8月18日時点】

赤字: 基準値超過の箇所  
 青字: 基準値以下の箇所  
 緑字: 調査中の箇所



下敷水残土処理場



※8月18日更新

⑪市道路災害復旧工事

凡例	
付替県道	— (Red line)
一次切替道路	— (Magenta line)
県道改良区間 (愛媛県施工)	— (Cyan line)
小田河辺大洲線 (現県道)	— (Green line)
その他県道	— (Orange line)
その他市道 ・林道	— (Black line)
国道197号	— (Purple line)
ダム管理区域 (ダム大端標高)	■ (Blue hatched area)

※一般に供用されている⑥市道、⑫林道については、既に⑤見の越トンネル掘削ズリ仮置き場に移動済み。  
 ※現時点で⑥、⑫以外の搬出箇所は工事現場内で未供用のため、道路の通行止めは予定していません。